

鳥取港振興会 ニュース

港湾だより81号

(令和8年3月発行)



写真：三井オーシャンフジ鳥取港初寄港（令和7年11月）

INDEX

- クルーズ客船「三井オーシャンフジ」初寄港！
- 2026クルーズ客船寄港情報
- 令和7年度鳥取港主要航路切替 進捗状況
- 令和7年鳥取港港湾統計年報（速報値）
鳥取港取扱貨物量
全体貨物（項目別）
- 会員情報 ふるさと企業大賞（総務大臣賞）受賞
- 鳥取港福フェス2026開催決定！
- 山陰近畿自動車道整備推進決起大会
- 鳥取港利用時の支援制度

発行：鳥取港振興会

クルーズ客船「三井オーシャンフジ」初寄港！

令和7年11月13日(木)に、商船三井クルーズ株式会社が運航する「三井オーシャンフジ」が鳥取港に初寄港しました。鳥取港に寄港したクルーズ客船の中では、初めての3万トン級のクルーズ客船となります。鳥取砂丘、砂の美術館、鳥取城跡など鳥取を観光されました。

また、鳥取港とマリニピア賀露を結ぶシャトルバスには200名以上の乗客の利用があり、マリニピア賀露内の海鮮市場「かろいち」では、鳥取県漁業協同組合による乗客限定のかにとりけんの汁の振る舞いや、解禁直後の松葉がにの購入などの賑わいが見られました。



クルーズ客船「三井オーシャンフジ」の概要

- ・船社：商船三井クルーズ株式会社[日本]
※令和6年12月就航
- ・総トン数/全長：32,477トン/198.15m
- ・乗客定員/458人 客室229部屋(全室スイート)

◎クルーズ名：隠岐・鳥取クルーズ5日間

(博多発着4泊5日)

11/11(火)博多発→11/12(水)隠岐(浦郷)

→11/13(木)鳥取→11/14(金)釜山/韓国

→11/15(土)博多着



初寄港！三井オーシャンフジ



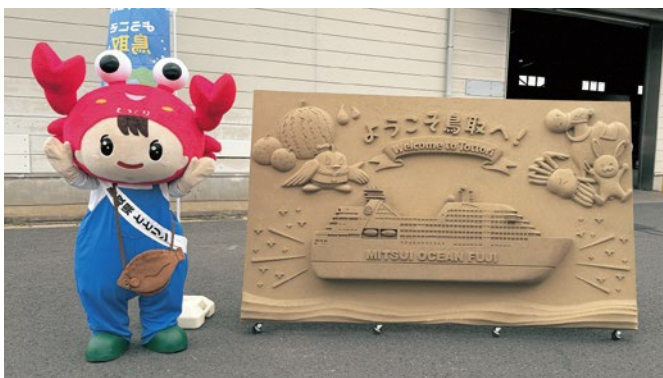
船首は1号岸壁の先の3号岸壁まで到達



逢鷲太鼓によるお出迎え



テレビ局の取材を受ける藤本専務理事



ととりん・砂のオブジェでお出迎え



大人気！蟹取県(かにとりけん)帽子&ととりんと記念撮影



マリニピア賀露 (海鮮市場「かろいち」・地場産プラザ「わったいな」) ヘシャトルバス運行



海鮮市場「かろいち」でかに汁の振る舞い



解禁直後の松葉ガニなどをお土産に購入する乗客



1号岸壁内の物販でお土産購入



しゃんしゃん傘踊りでお見送り

2026クルーズ客船寄港情報

三井オーシャンフジ ※2年連続

- ① 令和8年5月30日(土) 10:00入港 18:00出港
 クルーズ名:初夏の隠岐・高知クルーズ(神戸発着)8日間
 5/27神戸→5/28航海日→5/29釜山・韓国→5/30鳥取→
 5/31隠岐(浦郷)→6/1航海日→6/2高知→6/3神戸

- ② 令和8年6月19日(金) 11:30入港 18:30出港
 クルーズ名:初夏の鳥取・釜山クルーズ(博多発着)4日間
 6/18博多→6/19鳥取→6/20釜山・韓国→6/21博多

三井オーシャンサクラ ※初寄港

- ③ 令和8年10月15日(木) 9:30入港 17:00出港
 クルーズ名:三井オーシャンサクラデビュークルーズ
 ~鳥取~(博多発着)4日間
 10/14博多→10/15鳥取→10/16釜山・韓国→10/17博多



令和7年度鳥取港主要航路切替事業 進捗情報

進捗状況

鳥取港では、近年頻発する異常気象により、現在の主航路である千代航路において、航路・泊地の埋塞、港内静穏度の不足等への対応が必要となっており、抜本的な対策を講ずるため、令和2年度に港湾計画を改訂しました。

現在、港湾計画に基づき、千代航路から西浜航路へ主航路を切り替えるための防波堤の整備を進めており、令和10年代半ばの完成を目指しています。

第1防波堤の延伸は国土交通省が、第3防波堤の撤去と第2防波堤の延伸・高上げは鳥取県が担い、国と県が連携しながら主航路切り替えを進めています。

本年度の国土交通省の事業（第1防波堤延伸）では、ケーソン1函と消波ブロックの製作を行いました。

県の事業では、第2防波堤の高上げに必要なケーソン内部の地盤改良、第2防波堤延伸と第3防波堤撤去に係る測量設計を実施しました。

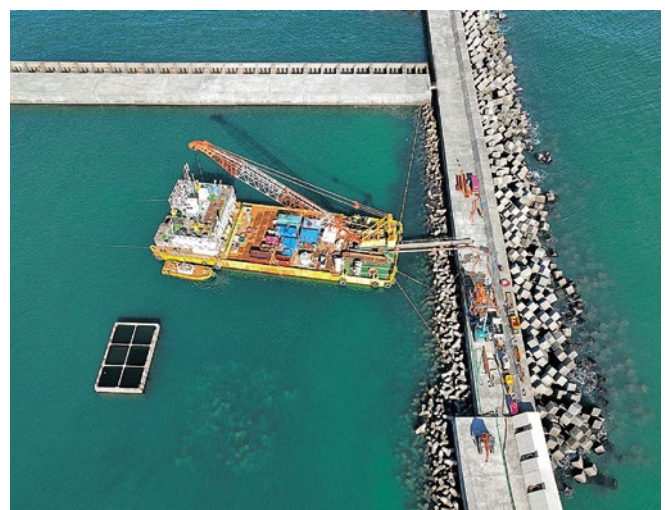
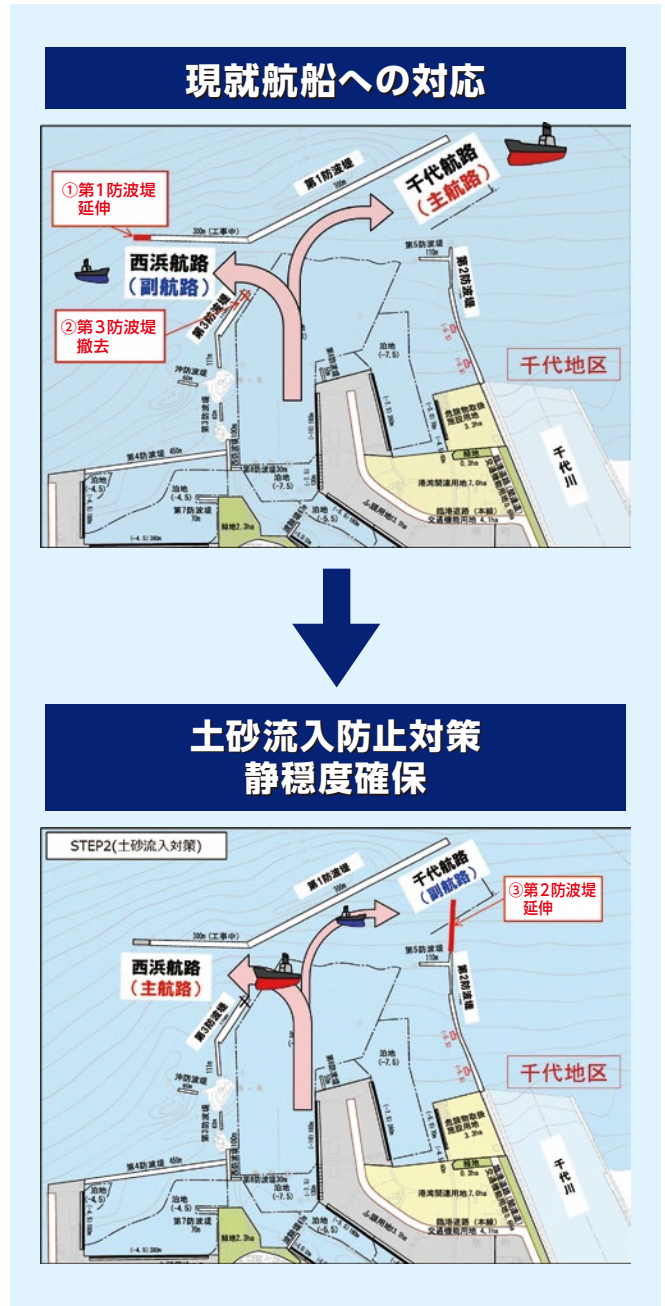
年間を通して安全・安心に荷役作業を行っていただけるよう、港内への土砂流入を防ぐとともに、港内の静穏を確保するために必要となる防波堤の整備を着実に進めています。



第1防波堤延伸 ケーソン製作状況(国土交通省事業)



第1防波堤延伸 消波ブロック製作状況(国土交通省事業)



第2防波堤高上げ ケーソン内部の地盤改良状況(鳥取県事業)

令和7年鳥取港港湾統計年報【速報値】

鳥取港の令和7年取扱貨物量は397,485トンで、前年から77,332トンの減(対前年16.3%減)となりました。令和3(2021)年から令和7(2025)年の全体貨物量において、令和5(2023)年に次いで少ない結果となりました。

内貿貨物量は379,074トンで、前年から61,856トン減(対前年14.0%減)でした。主な要因として、砂・砂利やセメントの移入が減となりました。

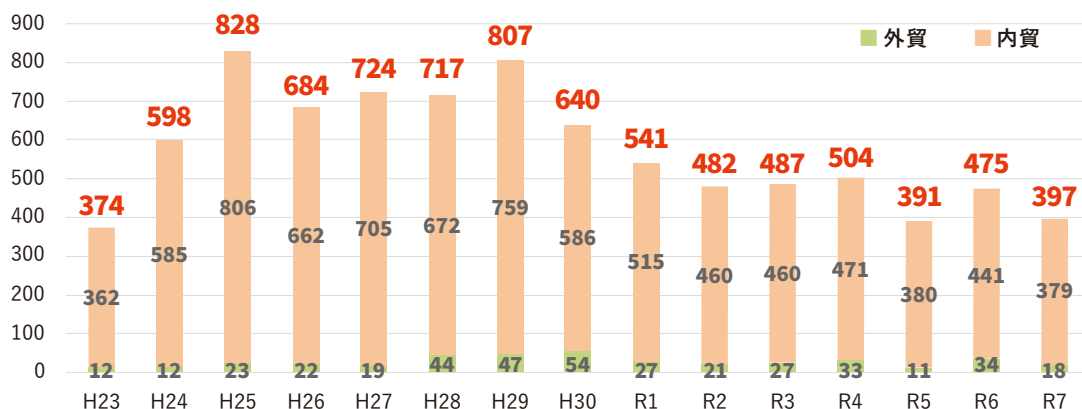
外貿貨物量は18,411トンで、前年から15,476トン減(対前年45.7%減)でした。主な要因として、薪炭(PKS)の輸入が皆減となりました。

■鳥取港の年間取扱貨物量

(単位:トン)

年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
全体取扱貨物量	486,893	503,886	390,687	474,817	397,485

(単位:千トン)



■鳥取港の項目品種別貨物量

(単位:トン)

		内貿			外貿				
		品種別	R5年	R6年	R7年	品種別	R5年	R6年	R7年
移出	水		2,499	2,290	2,053	-	-	-	-
	重油		1,031	1,023	960	-	-	-	-
	石油製品		13	5	6	-	-	-	-
	移出計		3,543	3,318	3,019	輸出計	0	0	0
移入	砂・砂利		234,320	264,050	198,940	薪炭(PKS)	0	19,468	0
	石灰石		77,200	108,430	115,650	化学薬品(凍結防止剤)	10,721	14,419	18,411
	セメント		42,190	41,177	37,247	-	-	-	-
	重油		19,409	21,596	21,782	-	-	-	-
	水産物		1,884	1,009	1,146	-	-	-	-
	化学薬品		1,420	1,350	1,290	-	-	-	-
	移入計		376,423	437,612	376,055	輸入計	10,721	33,887	18,411
内貿の合計			379,966	440,930	379,074	外貿の合計	10,721	33,887	18,411

会員情報 ふるさと企業大賞(総務大臣賞)受賞

鳥取港振興会会員の三洋製紙株式会社(一般財団法人地域総合整備財団(ふるさと財団)の「令和7年度ふるさと企業大賞(総務大臣賞)」を受賞されました。

受賞事業の「バイオマスプラント導入事業」では、再生可能エネルギーや地域活性化事業の学びの場として、工場見学を積極的に受け入れ、他事業所で発生した機密書類を無償で引き取り段ボール原紙として再利用するほか、発電の過程で生じた焼却灰をセメントに加工し道路の路盤材として活用するなど、廃棄物削減に尽力し、また、鳥取県森林(もり)づくり協議会に参画し皆伐再造林に必要な植栽経費等を拠出するなど、環境面にも配慮した様々な取組みが評価されての受賞となりました。

バイオマスプラント事業は、森林資源を活用したバイオマス発電であり、主燃料は県内で発生する残材や間伐材などの木製チップですが、鳥取港から輸入されたPKS(パーム椰子殻)も燃料として一部活用され、安定的な発電が行われています。



鳥取港福フェス2026開催決定！



船内見学や飲食物販コーナーなどで賑わう鳥取港福フェス2025の様子



令和7年度に鳥取港重要港湾指定50周年の記念イベントとして「鳥取港福フェス」を開催しましたが、災害時の関係機関との連携や港湾の機能・役割・重要性の周知等を目的に、自衛隊、海上保安庁、鳥取県警察、鳥取県東部消防局等の協力のもと、令和8年5月16日(土)に「鳥取港福フェス2026」が開催されます。大型船の寄港のほか、多くのイベントが予定されています。

山陰近畿自動車道整備推進決起大会

令和7年11月18日(火)に衆議院第一会館において、山陰近畿自動車道沿線の鳥取県、兵庫県、京都府の3府県と国会議員連盟が主催する「山陰近畿自動車道整備推進決起大会」が開催され、国会議員、3府県知事、県会議員や地元関係者等約300名が集い、山陰近畿自動車道の必要性及び早期全線開通を訴えました。

決起大会では、平井鳥取県知事、長戸岩美町長(鳥取港振興会監事)等による地元関係者の意見発表後、地元整備推進団体から国会議員連盟、国土交通大臣へ要望書を手交し、深澤鳥取市長(鳥取港振興会会長)等の発声により早期全線開通に向けて「がんばろう」の三唱が行われました。



鳥取港利用時の支援制度

貿易

●鳥取港外国貿易利用拡大補助金

- ・港湾荷役経費の補助(1/2補助) <補助上限額>
- ① 荷主等にとって新規貿易貨物の場合…………… 100万円
(※令和7年度より補助上限改正)
- ② 荷主等の貿易貨物量が増加した場合…………… 50万円
(※令和7年度より補助対象を過去の実績(年度ベース)を上回る場合に改正)
- ③ 上記①及び②の該当荷主等が同一年度内に継続して輸出入を行う場合…………… 30万円
※1. ①及び②は年度内の1取引とし、併給はありません。
※2. 新規貨物の判断は、実行関税率表の分類単位で行います。
※3. 貨物量増加は、過去の実績(年度ベース)上回る場合とします。
※4. ③の補助回数は、年間4回までとします。見本品や試供品等の輸出入は対象外とします。
- ※上記①及び②の補助を受けた荷主等は、同貿易に係る港湾施設使用料が減免されます。
(鳥取港湾事務所へ別途申請が必要です)
- ① 岸壁使用料、荷役機械・上屋・野積場使用料を、最長10日間免除します。
② 原木輸出における野積場の使用料は最長30日間免除し、免除する野積場の面積の上限は6,000㎡です。

クルーズ船

●鳥取港利用促進事業補助金

- ・タグボート回航料の補助(2隻まで)…………… 80万円
(※令和7年度より補助上限改正)
- ・タグボートによる離着岸作業料の補助(1/2補助、2隻まで)…………… 37万円
- ・水先人乗船に係る費用の補助…………… 40万円
- ・タグボートの燃料価格調整金…………… 上限無し